

充実した学級経営をめざして

— 学級経営案を中心に —

目 次

I 研究テーマの設定理由	79
II 学級経営の意義	79
III 学級経営案についての考え方と作成	80
1、学級経営案の作成	80
2、生徒の実態把握	83
(1) ゲスフーテストの目的と形式	83
(2) ゲスフーテストの例 ——資料	83
(3) ゲスフーテストの処理 ——資料	84
(4) 分析と考察	84
3、学級活動の意義をふまえての展開	86
(1) 実践例	86
IV 学年経営案の作成と展開	94
1、学年経営案の作成と展開	94
2、具体的な学年の取り組み	96
V まとめと今後の課題	99
【主な参考文献】	

宜野湾市立嘉数中学校

嘉 数 吉 雄

充実した学級経営をめざして

— 学級経営案を中心に —

宜野湾市立嘉数中学校教諭 嘉数吉雄

I 研究テーマの設定理由

新教育課程（平成元年）では従来の学級活動と学級指導が統合されて学級活動として位置づけられており、その内容としては、「学級や学校の生活の向上を図り、生徒が当面する諸課題の対応や健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと」になっている。

私のこれまでの学級経営を振り返ってみると、校内行事への取り組みを中心にして学級集団の意欲を高め、思い出の多いクラスづくりをめざしてきたが初心にかえって学級経営について見直し、多角的に考えるためにも、もっと理論面、実践面で研究を深めていきたい。

また、最近、特に生徒の発言が少なくなっており、ある意味では他力本願的な無言化現象が起きているように思う。

そこで担任としては、どうしても系統だてた年間指導計画をたて十分な話し合い活動がなされるような工夫、てだてが必要である。

ただし、生徒まかせの話し合い活動ではなく、そこには担任による適切な指導、援助がなければならぬと思うし、より望ましい集団づくりが必要である。

学校教育の基底にあるのが学級集団であるとしてとらえ、担任として生徒達のよりよき人間形成をめざして日々努力していかなければならないと思う。そして生徒達は、学校生活の中で次のような社会的、心理的な欲求、願いをもっていると言われている。

- 1 克服感……成し遂げた
- 2 所属感（連帯感）……集団の一員でありたい
- 3 充実感……自分の役割を果たし、他から承認

以上のことを念頭におきながら、生徒が自ら考え、自ら判断し、自ら自分自身の行為を選びとる能力を育てるためにも、一ケ年の見通しをもって、学級経営案を作成し、実践していきたいという考えで本テーマを設定した。

II 学級経営の意義

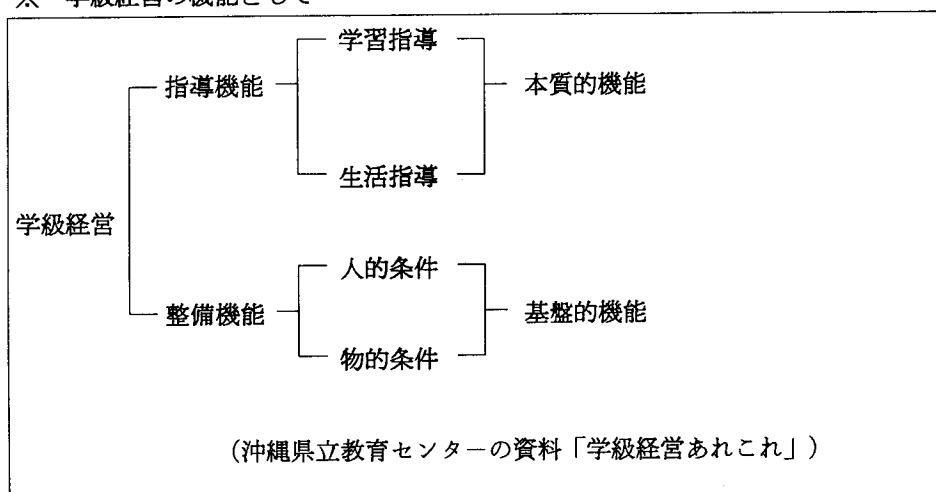
学級は、学校教育を推し進めていく基本的な単位であり、1人ひとりを全面的に進歩、発展させるための小集団であると思う。

そして学級の生徒達が、助け合い、励まし合う生活集団となるように相互作用を深めていく指導をしていきたい。そこで、どうしても担任としての目標をもって、学級経営にあたり、また生徒1

人ひとりの学級への期待感、所属感を生み、いわゆる個人的な面、学級集団としての面、両面に意欲をもって取り組むような工夫、てだてが必要である。

また、学級経営案の中で、立案し、実践し、また評価できるように組立てなければいけない。さらに担任として学級の諸条件の整備、改善、処理をするのが学級経営であると思う。

※ 学級経営の機能として



III 学級経営案についての考え方と作成

1、学級経営案の作成

1ヶ年の見通しをもって、生徒を活かし、育てる学級のありかたとその指導方針を立てなければいけない。そして学級を生活と学習の場にふさわしいものとすると共に、具体的に、実践できるように学級経営案を組み立てたい。

学級経営案の内容として考えられる事柄を下記のとおりとまとめた。

- 1 学級目標……………学校、学年目標をより具現化する
- 2 学級の実態……………生徒数、生徒の実態、学級の特色等
- 3 各教科の指導……………学習への心構え
- 4 道徳の指導……………目標と方針
- 5 学級活動の指導……………各活動の計画
- 6 生活指導……………目標と方針
- 7 教室環境整備……………方針、掲示コーナーの整備
- 8 家庭との連携……………方針、計画
- 9 学級経営の評価……………評価、反省、改善

(1) 学級経営案の具体化

1ヶ年の見通しをもって、生徒を活かし、育てる学級のありかたとその指導方針を立てなければいけない。

そして学級を生活と学習の場にふさわしいものとすると共に、具体的に、実践できるように学級経営案を組み立てたい。

平成2年度			
学 級 経 営 案 (試案)			
2年5組 担任名 嘉数吉雄			
教 育 目 標	本校教育目標	(1) 善悪を正しく判断し、あくまでも真実をつらぬきとおす生徒 (2) 物事を深く考え、合理的に判断し、進んで自己を開発する生徒 (3) 自他を尊重し、健康で明るく、民主的な生徒 (4) 勤労と責任を重んじ、自主的に創意工夫する生徒 (5) 情操豊かで清らかな生活のできる生徒	
	学年目標	(1) 中堅学年としての責任を自覚し、自主的、計画的に学習する生徒 (2) きめられたことは最後までやりぬく生徒 (3) 他人の立場を考え規律ある行動のできる生徒	
	学級目標	(1) けじめのある楽しい学級にしよう (2) 自らすすんで学習しよう	
学 級 の 実 態	学級の特色	(1) 男子1人が長欠、1年生より指導継続。 男女共に仲がよく明るい雰囲気で元氣者がそろっている。その反面教科によっては、授業中の私語があるとの事で注意をうける。 (2) 校内の文化的、体育的行事では上位をしめており、又学習面で五教科は上位の平均をとる。	
	指導上配慮すべき生徒	氏 名	事 由
		A 男	これといった原因はないので、怠学としてとらえ家庭訪問、3者面談などで指導継続。
		S 男	ゲスフーテストの結果、マイナス面が多く、生徒間では行動に問題があるようだ。部活動ではレギュラーでもあるし、根気強く指導を継続。
		Kさん	成績は上位だし、まじめな性格である。ただし家庭的には恵まれず母子家庭である。担任としては本人を励ましなが、明るく活動的になるよう導きたい。

経営方針	本校の基本方針	(1) 生徒との心の触れ合いの場を多くもち、生徒の立場にたって指導する。 (2) 教材研究を十分にして授業に打ち込み、生徒と共に伸びるように努める。		
	学年経営方針	(1) 学年教育目標達成のために全職員が共通理解をもち教育活動全般を通して指導の徹底を図る。 (2) 生徒指導は全職員の協力体制と信頼関係を密にし、父母と連携しながら生徒の立場や原因をよく究明し時には「暖かく」場合によっては「きびしく」親心をもった指導の徹底を図る。 (3) 職員は常に情報を交換し、なごやかで何でも言える心の隔てのない協力的な学年集団でありたい。 (4) 生徒の自主活動を育成するために、学年委員会活動を活発にし、学校、学年の諸行事等では生徒自らの自主的計画な活動の充実を図る。		
	学級経営方針	(1) 明るくなごやかな人間関係に支えられた学級づくりをめざす。 (2) 集団生活の中でのきまりや、約束が守れる生徒を育てたい。 (3) 何事にも意欲的にとりくむ生徒を育てたい。		
学級経営の諸計画	各教科の指導	(1) 授業に真剣にとりくむ集中力を養いたい。 (2) 発表力をつけたい。		
	学級活動の指導	(1) 学級活動をできるだけ多くし、話し合いをすることによって発表力をつけたい。 (2) 学期ごとの反省記録や、成績個票をもとに指導、助言をしていきたい。 (3) 係り活動を通して協力する態度を育てたい。		
	道徳指導	(1) 道徳的な見方、考え方を深めるとともに、実践力を身につけさせたい。		
	生活指導	(1) 集団生活における基本的なしつけを徹底する。 (2) ゲスフーテストまたは相互評価等の結果を参考に指導、助言していきたい。		
	教室環境	(1) 生徒が落ち着いて学習できる、生活できるように、明るくなごやかな教室環境にしたい。 (2) 展示物は生徒の活動、アイデアが活かされるよう工夫する。		
	家庭との連携	(1) 学年、学級だより等をとおして学校の様子、生徒の様子を父母に理解してもらう。 (2) 父母と積極的に接し、話し合いをふかめ協力していきたい。		
指導経過 反省	1 学 期	2 学 期	3 学 期	

2、生徒の実態把握

学級の仲間関係等を把握することにより、自分なりの経営方針がきまってくると思う。その方法のひとつとして「ゲスフーテスト」を実施した。

ゲスフーテストについて

(1) 目的と形式

集団の成員が他の成員に対して抱いている知覚を知るためのテストである。学級生活やその他の集団活動を通して、学級の成員は「A君はこういう性質の人だ」「S君はこういう行動をよくする人だ」というように、他の成員の性格や行動の特徴をとらえている。このような集団内の対人知覚の状態を「～する人は誰でしょう」という形式の質問によって把握し、集団内の対人関係を理解する方法である。

(2) ゲスフーテストの例

ゲス・フー・テストの例

() 学年 () 組 名前 ()

次の質問をよく読んで、正直に答えて下さい。どれも、あなたの組の人のことをきいているのですから、よく考えて書いて下さい。これは成績には関係ありませんから、思ったとおり書いて下さい。

注意 (1) 1つの質問にあてはまる人を1人選んで () の中に名前を書く。男子でも女子でもよい。

(2) いくつの質問にも、同じ人の名前を書いてもよい。

(3) どうしても書く人がなかったら、そこをとばして次にうつってよい。

質問

- 1 いつも明るく、はがらかで、楽しそうな人は誰でしょう。() ()
- 2 いつもさびしいようすで、つまらなそうな人は誰でしょう。() ()
- 3 自分に割りあてられた仕事は、どこまでもやりとげようとして、人が見ていなくてもまじめにする人は誰でしょうか。() ()
- 4 口ききだけでごまして、人が見ているとやるが、かげではほうりっぱなしにする人は誰でしょう。() ()
- 5 誰とでも仲よくし、みんなと協力する人は誰でしょう。() ()
- 6 自分勝手なことをして、みんなと協力しない人は誰でしょう。() ()
- 7 級友のみんなから好かれている人が誰でしょう。() ()
- 8 級友のみんなからきらわれている人は誰でしょう。() ()
- 9 よく、じょうだんを言ったりして、ユーモアのある人は誰でしょう。() ()
- 10 じょうだんなどを全く言ったことのない人は誰でしょう。() ()
- 11 勉強のよくできる人は誰でしょう。() ()

- 12 勉強のできない人は誰でしょう。() ()
 - 13 運動のたいへんじょうずな人は誰でしょう。() ()
 - 14 運動のへたな人は誰でしょう。() ()
 - 15 みんなの先に立って、クラスのせわのできる人は誰でしょう。() ()
 - 16 クラスのせわをしようとしらない人は誰でしょう。() ()
 - 17 困っている人には親切で、他の人をうらやんだり、にくんだりしない人は誰でしょう。
() ()
 - 18 いじわるで、人が困っているとかえってよろこび、他人をうらやんだり、にくんだりばかりしている人は誰でしょう。() ()
 - 19 誰とでも気安く交際する人は誰でしょう。() ()
 - 20 一人ぼっちで、他人とあまり交際しない人は誰でしょう。() ()
 - 21 学校や組で決められたことよく守る人は誰でしょう。() ()
 - 22 学校や組で決められたことをよく守らない人は誰でしょう。() ()
 - 23 いつも正直で、自慢したりしない人は誰でしょう。() ()
 - 24 よくうそをついたり、自慢したりする人は誰でしょう。() ()
 - 25 自分の気に入らないことをされても、あまりおこったりしない人は誰でしょう。
() () []
 - 26 少しのことにも気をかけ、すぐおこる人は誰でしょう。() ()
- (注) 児童・生徒に回答させる際、問題を1問ずつ読みあげ、全員が記名したのを見とどけながら、次の問題に進むのがよい。

(3) ゲスフーテストの処理について

ゲスフーテストの結果のまとめ方はいろいろあると思うが、私はプラス面マイナス面を次の通り数字でまとめた。

※ ゲフスーテストまとめ

項目	番号 男 子		2		3		4		5		女 子		2		3		4		5	
	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)
明 朗 性	0	0	5	0	0	0	0	16	0	1	0	0	0	6	0	0	17	0	3	0
責 任	7	0	3	0	10	0	0	0	0	3	0	0	7	0	5	0	0	0	7	0
協 力	3	0	6	0	3	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	0	1	0	2	0
人 気	0	0	8	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	2	0	5	0	3	0
ユーモア	0	1	8	0	0	0	0	10	0	1	0	0	0	8	0	0	8	0	0	0
勉 強	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	10	0
運 動	0	0	14	0	3	0	0	6	6	0	0	0	0	2	2	0	1	0	2	0
指 導	1	0	16	0	13	0	0	1	0	4	0	0	0	0	1	0	3	0	14	0
親 切	5	0	1	0	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	1	0	1	0
社 交	0	0	5	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	8	0	0	5	0	0	0
規 律	5	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0
誠 実	4	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
寛 容	2	0	3	0	1	0	2	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
備 考 欄																				

(4) 分析と考察（ゲスフーテスト）

この一覧表はプラス面、またはマイナス面で特に多くの指名を受けた生徒を一部抽出した。男子の1番は物静かで目立たない存在だが、多くの生徒から認められている。

男子の2、3番の生徒はクラスのリーダーであり部活でも頑張っており多くの生徒の信頼があると思う。男子の4、5番の生徒は別にこれといった問題傾向はないが学級ではマイナス面が多く、担任として気をつけるべき生徒であると思う。女子の1、2番の生徒はごく普通のまじめな生徒だがマイナス面があり、又全然指名する生徒がいないのが気がかりである。グループで給食を食べている時も楽しそうだし、別に孤立しているようには見えない。女子の3、4、5番の生徒はクラスのリーダーであり多くの支持がある。ただし3番の生徒はやや無口な方なのでこのような結果になったと思う。

ゲスフーテストの結果を処理するには大部時間を要したが、やはり一人ひとりの生徒の顔を思い浮かべながらまとめるので、より親しみをおぼえるものである。

また、担任として見えにくい部分があることを感じた。ただしゲスフーテストの結果が全てではなく、ひとつの指導のめやすにしたい。

3 学級活動の意義をふまえての展開

学級というものを家族の一員が家庭に期待するような温かな雰囲気や、人間関係をもち、困ったり、悩んだりする場合には協力や援助が得られるような場であり、集団としていくことが必要である。そのためにも学級活動の充実を図るべきだと思う。

学級活動の特色としては『 ① 学級活動は学校における生徒の生活の根拠地ともいえる「学級」を単位とした活動であり、生徒指導の機能が働く場である ② 学級活動は生徒の必要に対応して、生徒指導を計画的にすすめる時間（場）である。

③ 学級活動の成果を上げるため、学級担任は生徒理解を深めると共に生徒自身が自らの問題に取り組む意欲を高めていく必要がある。④ 自己教育力や寛容の精神の育成を図る学級活動とも云われており、また学級活動は生徒に自己指導の機会を与え、その経験をとおして自己指導の力を養っていくことが重要なねらいとしており、またこのような力は現在及び将来において生徒が自己や自己をとりまく環境を見つめ、何をなすべきか主体的に判断し、自己を伸ばす原動力となる』とも云われている。

ところで学級活動の内容としては ① 学級会的活動 ② 学級指導的活動 ③ 進路指導的活動がある。その中で特に ① の内容の増加が期待されているとも云われている。

そこで全体的な学級活動計画の中に学級として、学年としての活動計画を取り入れまとめた。

(1) 実践例

① 修学旅行の事後指導

ア、旅行文集をつくり、生徒に配布

（生徒全員が原稿用紙1枚に思い出をまとめる。）

イ、各学級の旅行展

(スナップ集。九州マップを拡大して壁新聞の要領でまとめる)

※ 以上の事をおして行事のねらいや、また見学地で学習した事柄を再確認させる。教師と生徒のふれ合い、友人とのふれ合いの思い出にひたらせる。

② 中間、期末テストの事後指導

ア、生徒自身が成績個票への記入

(反省と自分なりの次回への目標づくり)

1人の先生がパソコンをつかって、学年席次、学級席次だけではなく各教科の男女別の席次、学級別の平均もだしてくれますので、担任としては生徒の学習に関するひずみとらえやすい。生徒自身も自分が頑張った教科、そうでない教科がはっきりするので「めやす」がたてやすくなる。

担任と生徒との対話が自然に生じてくるので、ひとつの指導、励ます場にもなる。教師の言葉ひとつで生徒にやる気を起こさせるし、またマイナス面も出てくると云われているが、私もハットさせられる事がたびたびあり気をつけたいものである。例えば、テストを返す時の担任の語調にも敏感に反応する。前列に座っていた生徒が「いままで、私の名前をやさしく呼んだことないのにな」と独りごとを云う場合もあり、即座に「悪い事をしたな」と謝ってから返した時もある。私自身いつのまにか「ほめられ役」と「叱られ役」の生徒をつくったようである。これから心しなければいけない事として、生徒個々を温かく見守り指導していく必要があるし、日頃からの生徒との人間的な触れ合いを大事にしていきたい。ラポートがうまくいっておれば、少々きびしい指導でも「スムーズ」に受け入れるものだし、そういう事からしても、ひとつの指導、触れ合いの場である「学級活動」も活性化させたい。

③ 学級の諸問題の解決

ア、「議題」づくりとしては、学級の日誌、給食時の雑談または奉仕グループの話し合い等。

④ 生徒の実態把握

ア、アンケート形式 (学期毎の反省、相互評価、ゲスフーテスト、成績個票等)

⑤ 学級お別れ会

ア、1ヶ年間自分が属した学級の最後の活動であり、1ヶ年間の反省と進級する事にたいし抱負や決意をもたせる。

イ、学級の仲間や先生方への感謝とよき思い出づくりの場とする。

⑥ 資料

特に生徒達との「話し合い」の糸口がつかみやすいので、参考例としてあげた。

生徒達を理解するために私が利用しているアンケート形式のこの資料は中学教育(月刊)

その他の教育図書または現場の先生方が考案されたものである。

1. 学習の記録・評価 年10段階

	国	社	数	理	音	美	体	技	英	計	欠席
1 年	5	5	4	5	4	5	5	5	4	42	23
2 年											
2 1 学期	5	5	4	4	5	5	4	3	4	39	
2 2 学期											
2 3 学期											

2. 学習の記録・素点

	国	社	数	理	英	計	音	美	体	技	学級 席次	学年 席次
一 学期 中 間	90	92	72	88	74	416					6	31
一 学期 末	96	85	80	82	68	411					8	32
二 学期 中 間												
二 学期 末												
三 学期 総 合												
三 学期 実 力												
三 学期 実 力												

3. 成績プロフィール

(17×10名)	0	50	100	150	200	250	300	350
1 学期 中 末								
2 学期 中 末								
3 学期 中 末								

2 年	組	番	氏 名	A 子
-----	---	---	-----	-----

5 段階 評価	7 %	2 4 %	3 8 %	2 4 %	7 %					
	5									
	4									
10 段階 評価	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
	2 %	5 %	9 %	15 %	19 %	19 %	15 %	9 %	5 %	2 %
人員(計 人)										

進路希望(自分の力にあった高校を早めに決めよう)

月/日	課 程	希 望 高 校	希 望 科	第 2 希 望 等	進 路 希 望
6/		普 天 間			
/					
/					
/					

メ	一 学期	二 学期	三 学期	部活動に熱中しすぎた
モ				

在 籍 (名)

一学期の反省（相互評価）

年 組 No 氏名

	評 価 項 目	ほめてあげたい 推せんしたい人
1	班内において、チコク、服装、学習態度、当番活動などについて、班員に声をかけたり、活動したりし、みんなの世話をよくみて、班をよくするためにがんばった人はだれですか。	
2	学級のリーダーとして、学級がよくなるために進んでみんなを引っばってくれた人はだれですか。	
3	思いやりがあり、だれにもやさしく接してくれた人はだれですか。	
4	気だてがやさしくて、明るく、また、じょう談などを言って、班や学級を明るく楽しい雰囲気にくれた人はだれですか。	
5	表面には出ず、ひかえめにしながら、縁の下の力もちとなって、班や学級がよくなるために努力したり、協力してくれた人はだれですか。	
6	清掃や給食当番、日直などの当番活動にみんなと協力したり、よく活動して頑張った人はだれですか。	
7	係活動でいろいろとアイディアをだしてよく協力したり、よく活動して頑張った人はだれですか。	
8	授業中に進んで質問をしたり、先生の質問に積極的に答えたり進んで発言（表）したりして、学習活動に積極的に、真剣にとりこんでいた人はだれですか。	
9	班長に協力し班内の話し合いによく参加し、班活動に協力してくれた人はだれですか。	
10	一学期を通して、生活態度が良い方になり、みんなに協力的で明るくまじめになった人はだれですか。	
11	二学期のリーダーとして学級のために頑張ってほしいと推せんしたい人はだれですか。	
12	授業中、私語や忘れ物などでよく注意を受けた人はだれですか。	
13	清掃、給食、日直などの当番活動で、もっとみんなに協力して欲しい人はだれですか。	

※ 男女を問わず、ほめてあげた人、推せんしたい人、また、今後のために気をつけて欲しい人の名前を書いて下さい。（2人～3人）

学級活動指導案

嘉数中学校2年5組 男子20名

女子19名

(1) 自治的活動

授業者 嘉 数 吉 雄

話し合い活動

日 時 平成3年2月22日

1 題材 「学級お別れ会」

2 題材設定理由

学校生活の中で「修了式」も大きな「節目」であることを理解させながら、次のステップである最上級生としての心構えを育てたい。

ややともすれば生徒にとってはただ通知表をもらい、1ケ年が終わったということですましてしまう傾向がある。

そこで、学級活動のまとめの意味も含めて、また生徒が楽しく語り合い1ケ年をふりかえるためにも、「学級お別れ会」を計画し、実践していくように取り組ませたいものである。

3 指導のねらい

(1) 1ケ年間自分が属した学級の最後の活動であり、1ケ年間の反省と進級する事に対し抱負や決意をもたせる

(2) 学級の仲間や先生方への感謝とよき思い出づくりの場とする

4 指導計画

(1) 学級お別れ会の諸計画、各係の決定（本時）

(2) 学級お別れ会の実施（1時間）

5 指導経過

(1) プログラム委員会で具体的な議案を作成

(2) 前もって、各班長には学級の議題について知らせておく

6 本時のねらい

(1) 話し合いに積極的に参加し、各自の意見をまとめて班で討議する。全員が協力し、ねらいを達成させる

7 展 開

区 分	活 動 内 容	指導上の留意点
導 入	1 開会のあいさつ 2 担任のあいさつ 3 提案理由についての説明	○「学級お別れ会」を意義深いものにするためには、どうすればよいのかを考えさせる
展 開	○「学級お別れ会」が必要かどうか。 (1) 話し合い (2) 意見 (3) 質問 ○実施するための計画 (1) 具体的な内容について話し合う 例――「ひと言集」 「寄せ書き」 (2) 係分担について話し合う	○「学級お別れ会」のねらいについて考えさせる ○建設的な意見をまとめる ○班ごとに意見をまとめる ○担任が補足、修正をする ○日時はプログラム委員に一任
ま と め	○学級全員の協力を確認する ○閉会のあいさつ	○学級活動のまとめとしてぜひ成功するように取り組ませたい

※ 評価の観点

- (1) 本時のねらいを十分理解し、議題に対して積極的に取り組んだか
- (2) 発表の態度、聞く態度はきちんとしているか。

Ⅳ 学年経営案の作成と展開

学校経営と学級経営の中間に位置づけられるのが学年経営である。

学年経営の機能としては ① 学校教育目標の具現化 ② 学年の行事、学校行事の運営等
③ 学年としての諸問題（生徒指導、学習指導等）があげられる。それを学年会で協議し、実践する
てだてや工夫をしていく必要がある。

担任1人又は教科担任1人の力では解決できない問題も生じてくるので、同一学年の教師間の連携を密にしながら、共通理解のもとに生徒の指導にあたりたい。

そういう意味からしても、学年の教師間の協力や信頼感を生むような「なごやかさ」も大事にする学年の集団づくりをめざし、又学年の運営面、指導面について話し合いをもち、具体的な学年経営案をたてたい。

1 学年経営案（例）

平成2年		
学 年 経 営 案（試 案）		
第2学年		
	本校の重点目標	(1) 自主的学習意欲の育成 (2) 日常生活における基礎、基本の徹底
教育 目 標	学年目標	(1) 中堅学年としての責任を自覚し、自主的、計画的に学習する生徒 (2) きめられたことは最後までやりぬく生徒 (3) 他人の立場を考え規律ある行動のできる生徒
経 営 方 針	学年経営方針	(1) 学年教育目標達成のために全職員が共通理解をもち教育活動全般を通して指導の徹底を図る (2) 生徒指導は全職員の協力体制と信頼関係を密にし、父母と連携しながら生徒の立場や原因をよく究明し、時には「温かく」場合によっては「きびしく」親心をもって指導の徹底を図る (3) 職員は常に情報を交換し、なごやかで何でも言える心の隔てのない協力的な学年の集団でありたい
学 年 の 実 態	学年の実態	(1) 全体的に明るく伸び伸びしており活動的である。学習面や発言となるとやや消極的である。 留意点…協力活動を活発にして、もっと積極的な活動ができるよう指導したい。 (2) 指導上の問題点としては何名かの長欠生徒がいる。 留意点…学年としてもしっかりした指導体制で臨みたい。

学年 経営 の 諸 計 画	各教科	(1) 授業に対する厳しい学習態度を育て、学習意欲を高めるように取り組ませる (2) 授業が学習の重点であることの意識をもたせ、日々の授業を大切に予習、復習ができるように指導する
	特別活動	(1) 学年行事や全体集会等に積極的に参加させ、協力活動の喜びをが得られるように指導する (2) 学年集会の持ち方についても表彰、先生方のお話だけでなく、生徒の発表も取り入れたい
	道徳	(1) 人間としてのよりよい行き方を追求させ、道徳的实践力を育てると共にまた特別活動との関連も図って指導の効果があるように取り組みたい
	生徒指導	(1) 集団の中のひとりとして自覚を高め、学校のきまりが守れるように指導する (2) 生徒との触れ合いを密にし、信頼関係をつくると共に生徒の悩み、問題解決にあたる (3) 全職員で共働実践をする
	教室環境	(1) 清潔で落ち着きのある環境づくりをする (2) 「考える掲示」と「動きのある掲示」をめざして取り組む
	父母との連携	(1) 「学年だより」を通して父母との連携を密にして協力してもらう
改善 と 反省	毎学期1回は学年経営について話し合いたい	

2 具体的な学年の取り組み（試案）

この「学年取り組み」を基にして、各学級においては独自のアイデア、行事を盛り込んでより具体的な取り組みを図るようにする。

主 な 学 年 経 営	
四 月	○ 始業式 ○ 入学式 ○ 健康診断 ○ 身体測定 ○ 家庭訪問 ○ 学級の組織づくり ○ 諸表簿の作成 ○ 健康安全の指導 ○ 学年事務分掌 ○ 学年便り
	(4月のポイント) 1、年間計画……学年の年間計画は学校行事など学校全体の計画と関連を図ると共に、教科、特別活動、道徳、生徒指導、進路指導のほか学年事務にいたるまでの確に把握して作成する 2、家庭訪問……家庭訪問のねらいをしっかりとのおさえるとともに資料の準備 3、学級づくり……スタートが大切である。担任としての経営方針をたて生徒にも目標をもたせよう
五 月	○ 遠足の計画、指導 ○ 連休の指導 ○ 学級PTA ○ 検尿、ぎょう虫検査 ○ 校内陸上競技大会への取り組み ○ 健康安全の指導 ○ 学年PTA組織づくり ○ 学年便り
	(5月のポイント) 1、遠足の計画、指導……遠足のねらいが達成できるようにまた各学級で取り組みやすいように準備する 2、学級PTA……担任としてぜひ1ヶ年間の見通しをもった「学級経営方針」について父母にも知らせるPTAに必要な資料の準備 3、校内陸上競技大会……学級の仲間意識を育てるよい機会である 生徒1人ひとりが活動できるように配慮する
六 月	○ 中体連球技大会に向けての指導、計画 ○ 中間テスト ○ ツ反、レントゲン ○ 知能検査、標準学力検査に向けての取り組み ○ 健康安全指導 ○ 学年便り
	(6月のポイント) 1、中体連球技大会……学年としても大会に向けての取り組み、指導の強化を図る。 特に生徒指導上の問題点について留意する 2、中間テスト……行事が多く、教師も生徒も浮き足だってくる時期である。 ぜひとも学習へ目を向けさせるよう指導したい。 「中間テスト」への事前、事後の指導がある
七 月	○ 期末テスト ○ 学級PTA ○ 1学期の反省 ○ 夏休みの指導 ○ 1学期末の事務整理 ○ 学年便り

	主 な 学 年 経 営
七 月	(7月のポイント) 1、期末テスト……期末テストに向けての事前、事後の指導、処理がある 2、学級PTA……学習面だけでなく行動面等についても話し合う。 ある意味では「中だるみ」の学年と言われており、また父母の参加もすくないので懇談するにしても一工夫する（例－生徒作品の展示、校内行事のビデオ利用） 3、夏休みの指導と計画……夏休みの意義と過ごし方について指導する父母との協力体制を確立する（連絡網） 4、1学期間の総まとめ……1学期間の反省と2学期に向けての決意をもたせる。 学年、学級経営についての話し合いを持ちたい
九 月	○ 始業式 ○ 夏休みの反省 ○ 修学旅行の取り組み ○ 体育祭（文化祭）取り組み ○ 2学期の学級組織づくり ○ 学年便り (9月のポイント) 1、修学旅行の取り組み……学年の全職員が仕事の分担をし、協力する。又生徒の修学旅行委員会を発足させ、各委員会の活動内容についての「話し合せる」指導をすすめる 2、夏休みの反省……「夏休みの反省」をもとに学校生活のリズム取り戻し、諸行事に対しても積極的に取り組ませる
十 月	○ 中間テスト ○ 修学旅行父母説明会 ○ 地区陸上競技大会 ○ 意見発表の取り組み ○ 修学旅行委員会の取り組み ○ 学年便り (10月のポイント) 1、中間テスト……生徒1人ひとりの努力の過程や結果としてとらえ、今後に生かすように指導する。成績個票の作成 2、修学旅行父母説明会……修学旅行のねらいについて理解してもらい、協力を願う。 特に服装、金銭面に留意してもらう
十一 月	○ 校内意見発表会 ○ 修学旅行の実施 ○ 期末テストに向けての指導と計画 ○ 生徒会役員の選出についての取り組み ○ 学年便り (11月のポイント) 1、修学旅行の実施……修学旅行の事後指導は軽視されがちなのでぜひ生徒の作品展、文集づくり等を実施したい。 生徒がいっそう自分達のものとするよう配慮し、旅行のねらいを達成する 2、学期末テストに向けての指導、計画……学期末の評価を念頭におき、学習指導の充実を図る

	主 な 学 年 経 営
十 二 月	○ 終業式 ○ 冬休みの過ごし方の指導 ○ 期末テストにむけての取り組み ○ 二学期の反省 ○ 学級PTA ○ 教室の整備 ○ 通知票 ○ 学年便り (12月のポイント) 1、冬休みの過ごし方……冬休みの意義を理解させると共に基本的な生活習慣を身につけさせる 2、通知票……所見欄には生徒をよりよい方向に伸ばすために具体的な観点をしめす 3、期末テスト……期末テストの事後指導、処理がある 4、学級PTA……今年度の最後の活動でもあるので充実した「話し合い」をするためにもできるだけ資料をそろえる。 「冬休み」のねらいを理解してもらい、協力を願う 5、二学期の反省……2学期の反省と新学年に向けての決意をもたせる学年、学級経営についての評価
一 月	○ 始業式 ○ 書初め展 ○ 3学期の学級組織づくり ○ 冬休みの反省 ○ 学年便り 1、3学期の学級組織づくり……学年最後の学級組織づくりであることを認識させ、1ヶ年のしめくりが出来るような心構えをもたせる 2、書初め展……全生徒が参加出来るように配慮し、優秀作品は表彰する
二 月	○ 学年末テスト ○ 卒業生を送る会の取り組み ○ 諸表簿の整理 ○ 望ましい集団 ○ 生活の指導 (2月のポイント) 1、望ましい集団生活の指導……学級の係活動や生徒会活動に積極的に取り組ませる 各学級の清掃、整備等について学年内で総力をあげて指導する 2、学年末テスト……テストに向けて意欲的に取り組ませる。
三 月	○ 卒業式 ○ 終了式 ○ 学年末の諸表簿の整理、提出 ○ 学級、学年経営の反省 (3月のポイント) 1、卒業式……卒業式の意義をしっかりと理解させ、先輩の門出を祝福する気持をもたせる 2、学年末の諸表簿の整理……提出された諸表簿を学年内の職員でチェックする。 日常の着実な記録、整理が大事である 3、春休みの過ごし方……生活心得の指導だけではなく、自分の成長のあとをふりかえり「新しい希望」をもたせるよう指導する
備 考	

V まとめと今後の課題

本研修で教育活動における「学級経営」の大事さを改めて知ることができたし、また多くの先生方の実践例をはじめ、数多くの参考文献に触れることにより自己啓発に役だったと思う。

このような事を基にして自分なりの「学級経営案」をたて、なごやかな集団、意欲のある集団づくりに取り組みながら、学級王国を作るのではなくぜひ学年全体としても取り組み共通理解を図るためにも「学年経営案」まで発展させて自分の考えをまとめた。

今後は学級をひとつの集団としてだけではなく、個も大事にして生き生きと活動する生徒を育てるために、理論面だけでなく実践面でも多いに力を入れていきたい。

最後に教育委員会の先生方をはじめ、多くの先生方の指導や助言を戴きながら研修できた事に深く感謝すると共に、また、現場での「共働実践」をめざして頑張っていきたい。

<主な参考文献>

福代昭二 遠藤昭彦	学年、学級経営の計画、展開、評価	ぎょうせい	1981年
大石勝男 水越次男	学級活動12ヶ月(中学校)	文教書院	1990年
松本幸夫	学級、学年づくりのポイント (中学校2年)	民衆社	1985年
高橋哲夫 宇留田敬一	学習指導要領の展開 (特別活動編)	明治図書	1989年
石川裕美	役に立つ学級経営案の書き方 (中学校)	明治図書	1989年
文部省内教育課程 研究会監修	中学教育課程講座(特別活動)	ぎょうせい	平成元年